

令和 6 年 6 月 6 日

「教育システム改善のためのアンケート」の集計結果

資源循環システムコース教育システム改善委員会
廣吉委員長
福田委員
有馬委員

1. はじめに

北海道大学工学部環境社会工学科資源循環システムコースでは、教育内容・方法等を継続的に改善していくことを目的として、2002 年（平成 14 年）8 月に教育システム改善委員会を設置した。本委員会は、学生・社会人を対象としたアンケートを通して、本コースの教育に対する学生・卒業生の評価・意見・要望等を受け付け、これを集計・分析してコース会議に報告することを活動の骨子としている。

ここでは、本コース学生を対象に 2024 年 2 月(令和 5 年度末)～2024 年 4 月（令和 4 年度下旬）に渡って実施した各種アンケートの回答を集計した結果を、「別紙2」のとおり報告する。

2. アンケートの実施方法と書式

令和 5 年度の卒業生及び令和 6 年度の新 3・4 年生を対象としたアンケートは、別紙 1 に示す書式（Google Foam を用いたウェブアンケート方式）を用いて下記の要領で実施した。

＜アンケート実施要領＞

対 象	実施時期		備 考
令和 6 年度 新 3 年生 (以降, 単に 新 3 年生)	2024 年 4 月 24 日	新 3 年生講義にて	すべてのアンケートを Google Form を用いて回答
令和 6 年度 新 4 年生 (以降, 単に 新 4 年生)	2024 年 4 月 24 日 ～5 月 9 日	各研究室	
令和 5 年度 卒業生 (以降, 単に	2024 年 2 月下旬 ～	各研究室	

卒業生)			
------	--	--	--

3. 集計・分析結果

別紙1に各学年のアンケート集計結果を示す。以下では、教育システム改善委員会が行った分析結果を設問毎にまとめて示す。今回実施のアンケートの回答率は新3年生が31名/35名（88.5%）、新4年生が29名/33名（87.8%）、卒業生が29名/34名（85.2%）であった。

設問1－（2）では「進路希望」について問うており、進路の決定していた卒業生を除き、新3年生は31名/31名（100%）、新4年生は27名/29名（93.1%）の学生が大学院進学希望している結果となった。昨年は3,4年生ともに90%となっており、今年度も同程度の進学希望率となった。進学以外の内訳は、環境関連：エンジニア、技術士、公認会計士となっていた。

設問2－（3）では「学習・教育目標について、本コースの学生の資質（知識レベルなど）に対して適切に設定されていますか？」と問うており、新3年生から1件「いいえ」の意見が寄せられており、「もっと詳しく知りたい時もある。」であった。

設問2－（5）では「学習・教育目標に関してご意見があれば自由に述べて下さい」と問うており、新4年生から1件意見が寄せられており、「英語に触れる機会を増やして欲しい。今のカリキュラムにも多く含まれているが、よりアクティブに学べる機会が欲しい。必修でなく、希望者制でも良いと思う。」であった。

設問3－（1）は、現在のカリキュラムに対する満足度について問うており、「不満や改善要望がある」について新3年生から1件、新4年生から1件の意見が寄せられ、「英語の授業を2年次にも欲しいと思いました。その方が英語力を鈍らす事無くインターンシップに接続できると思いました。」との意見が寄せられていた（新4年生は意見なし）。

設問3－（3）は、現行の教育カリキュラムにおいて「すばらしかった科目」について問うており、目安として4件以上の評価があった科目に着目すると、新3年生については、件数の多い順から「応用数学Ⅱ」（11件）、「構造力学」（4件）、新4年生については、「流体力学演習」（5件）、「コンピューティング演習」（5件）、「技術英語」（5件）、卒業生については、「卒業論文」（6件）、という結果となった。個別のコメントとしては、「資料（スライド）・説明が分かりやすかった・教え方が丁寧だった・難しい内容だったがとても分かりやすかった」、「授業中に自分で手を動かし作業することで技術を身につけることができ、宿題により知識を定着することができた・小テストでの演習を通じて理解が深まった」、「TAが常に協力的であった」、「Moodle上にスライドや講義資料がアップされており講義の復習が行いや

すかった」,「1年生の英語の講義とは異なり,よりアカデミックで研究活動の手助けとなった」,「内容が身近であった」といったものがあつた。

設問3-(4)は,現行の教育カリキュラムにおいて「内容に問題のある科目」について問うたものである。3件以上批判的な評価が挙げられた科目について,新3年生から5件の意見が挙げられたのが「土の力学Ⅰ」,3件の意見が挙げられたのが「エネルギー工学概論」,新4年生から3件の意見が挙げられたのが「数値計算法」であつた。寄せられた意見の内容としては,講義難易度に関する意見(内容が難しい,難易度のわりに説明が少ない),講義方法・内容に関する意見(問題をといている時も説明がどんどん進み,スライドを早く読んでいるみたいで説明がわかりにくかつた,資料が英語でわかりにくかつた,何度も同じ内容の講義があつた,コンピューターでできることをなぜ改めて自分の手で計算しなくてはいけないのか,課題の範囲を Moodle 等に分かりやすく示してほしいかつた),採点に関する意見(出席点を兼ねている講義中の小テストを早期に切り上げた),講義開催時期への意見(同じ日の1限と5限に受講しないとといけないのが大変かつた),が挙げられた。

設問3-(5)は,「成績評価に問題がある科目」について問うたものである。今回の指摘件数は新3年生から4件となつており,「落単した理由がわからない」,「授業はかなりひどかつたが,あの説明量で試験だけは難易度を高く作つており,対策のしようがなかつた。せめて救済を設けてもらえなきゃ釣り合いがない」,「テストの点数が198点(98点の間違い?)かつたのにA+ではなかつた」,「テストの内容が簡単なので周りとは差がつきにくいと感じた」等の意見が寄せられた。

設問3-(6)は,カリキュラムに対する自由意見であり,新4年生から1件の意見が寄せられた。

- ・ 昨年タイのインターンシップに参加したが,インターンシップの後に,タイで学んだことを講義で取り扱っていたので,インターンシップよりも前に受講できるとより意味のあるインターンシップになるのではないかと感じた。

設問3-(7)は「今年度の資源コースの時間割との兼ね合いで,教職科目等の他コースの科目で受講が難しかつたもの/不都合を感じたものがあれば,具体的な情報を伝えてください。」について問うたものであるが,新3年生から4件の意見が寄せられた。

- ・ 2年で落とした必修を3年で再履修できない。
- ・ 秋タームと冬タームで違う日程のものばかりで時間割がほぼ埋まり,他学部科目を入れられなかつた。
- ・ 春ターム夏タームでみるとコマがほとんど埋まつていて他コースの通期のやつが取れない。
- ・ 春タームと夏タームがバラバラの時間割だと,他学部の授業を取りにくいと感じ

た。春/夏や秋/冬は同じ曜日の同じ時間に被るようにしてほしい。

設問４－(１)では、教育システムの改善に皆さんの声を生かすためにアンケート以外の良いアイデアが無いかを問うている。一部の意見を以下に示す。

- 定期的に面談する。
- 教授のメールアドレスが調べてもわからないことが多々あるため、リストを作成して配布してほしい。
- 資源の飲み会の数を増やしてほしいです。
- 資源学を２年生からの三年間で学ぶのは短いと思うため、学部一年の教養科目の一つに開講していただけると、より興味を持ってくれる生徒が本コースに入学してくれるのではないかと考える。

設問４－(２)では、コース全般に対する自由意見を募っている。一部の意見を以下に示す。

- 研究室について詳しく知る機会を２年生のうちに設けてあげれば、「〇〇研究室に入るために成績を取る」という動機で授業を頑張れると思います。僕は行きたい研究室が決まった頃には３年前期までの成績が決まっており、手遅れでした。

以上

教育システム改善のためのアンケート （令和6年度3年生）1学期

資源循環システムコース コース長
大竹 翼

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する...これが大学の使命です。
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的の実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。

1. まず、あなた自身についてお聞かせください。

1. (1) あなたはどのような進路を考えていますか？例えば、「大学院進学」,
「環境関連の研究者」, 「建設業界」などのように記入してください。

2. 学習・教育目標について

次の「学習・教育目標」について、下記(1)～(5)の質問にお答えください。回答は回答欄の「はい」「いいえ」いずれか一方を選んでください。「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

資源循環システムコースの学習・教育目標

- (A) 科学技術と社会・文化との関わりを知り，社会における技術者の責任・使命を認識する能力と素養を身に付ける。
- (B) 人間と自然との関わりを認識し，環境と調和した技術を考える能力と素養を身に付ける。
- (C) 専門分野を理解するために自然科学，数学，情報科学などに関する基礎的能力を身に付ける。
- (D) 技術の多様な展開に対応できる基本的な理解力と，他の分野にも視野を広げることができる素養を身に付ける。
- (E) 地圏の開発・防災，資源の開発・生産，資源循環・環境に関する総合的専門知識を身に付ける。
- (F) 問題の本質を理解した上で，他者と協働して自ら情報を収集・分析し，状況に応じた具体的な解決法と行動計画を策定する能力と素養を身に付ける。
- (G) 科学技術に対する知的好奇心を育み，主体的な学習意欲，継続的な研鑽の力と技術に対するフロンティア精神を身に付ける。
- (H) 自分の考えや仕事の内容・成果を論理的に表現できる文章記述能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
- (I) 国際的に通用するコミュニケーション能力と国際的な多様な価値観を理解できる素養を身に付ける。

2. (1) 本コースの特徴（とあなたが考えるもの）が十分に反映されていますか？

1つだけマークしてください。

☐ はい

☐ いいえ

3. (1)で「いいえ」を選んだ方は，その理由を記入してください。

4. (2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ, 教育ポリシーなどは社会の要請（とあなたが考えるもの）に対してほぼ適合していますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

5. (2)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

6. (3) 本コースの学生の資質（知識レベルなど）に対して適切に設定されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

7. (3)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

8. (4) 本コースの卒業生の進路（学生の方は希望進路）に照らし合わせて適切に設定されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

9. (4)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

10. (5) その他，「学習・教育目標」に関してご意見があれば自由に述べてください。

3. カリキュラムについて

専門科目実行教育課程表

学年	科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
2年	1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習
2年	3 図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義
2年	4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義
2年	9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習
2年	10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
2年	11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
3年	12 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	13 土質力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3年	14 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習
3年	15 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義
3年	16 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験
3年	17 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	18 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習
3年	19 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	20 環境化学/資源情報学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	21 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3年	22 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習
4年	23 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	24 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	25 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	27 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	28 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
2年	29 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	30 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	31 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習
2年	32 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験
2年	33 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	34 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	35 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義
2年	36 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義
2年	37 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	38 土質力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義
3年	39 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3年	40 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3年	41 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3年	42 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3年	43 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3年	44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3年	45 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験
3年	46 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習
3年	47 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義
3年	48 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義
4年	49 環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	50 生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	51 職業指導	4		4・Ⅱ	
4年	52 現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	53 卒業論文	8	必修	4・Ⅱ	
4年	54 水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	55 大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義

11. (1) 現在のカリキュラム（専門科目実行教育課程表を参照下さい）に対する満足度をお答えください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 満足している。（リストにある科目が、専門・仕事に役立つと考えられる、技術者・研究者・社会人の一般的素養として必要だと考えられる等）
- ☐ どちらともいえない（判断できない）
- ☐ 不満や改善要望がある

12. (2) (1) で「不満や改善要望がある」を選択した場合、その内容を具体的にお答えください（記入例「この科目は必要性を感じない」「現在の科目にはないがこんなことを勉強したい」等）。

下記(3)～(7)の質問にお答えください。受講されていない科目もあるかと思いますが、(3)～(5)の質問に関しては、下記の表にある昨年度後期(10～3月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、下記のカリキュラム表内に記載されている番号です。

<カリキュラム表>

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
1 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義
3 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習
4 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験
5 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義
6 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
7 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義
8 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義
9 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義
10 土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義

13. (3) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

14. (4) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

15. (5) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

16. (6) その他,「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

17. (7) 今年度の資源コースの時間割との兼ね合いで、教職科目等の他コースの科目で受講が難しかったもの/不都合を感じたものがあれば、具体的な情報を伝えてください。

4. 最後の質問です。

18. (1) 本コースでは、教育システムの改善に皆さんの声を生かすために、このアンケートを行っています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。

19. (2) その他、コース全般に対するご意見等（例えば、「コース名を@@@に変更したほうがいいのでは」等）があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

教育システム改善のためのアンケート （令和6年度4年生）1学期

資源循環システムコース コース長

大竹 翼

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する...これが大学の使命です。
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。

1. まず、あなた自身についてお聞かせください。

1. (1) 所属研究室を選んでください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 環境地質学
- ☐ 資源再生工学
- ☐ 資源循環材料学
- ☐ 資源化学
- ☐ 資源マネジメント
- ☐ 岩盤力学
- ☐ 資源生物工学
- ☐ 地圏物質移動学
- ☐ 国際資源環境システム
- ☐ グローバル開発情報学

2. (2) あなたはどのような進路を考えていますか？例えば、「大学院進学」, 「環境関連の研究者」, 「建設業界」などのように記入してください。

2. 学習・教育目標について

次の「学習・教育目標」について、下記(1)～(5)の質問にお答えください。回答は回答欄の「はい」「いいえ」いずれか一方を選んでください。「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

資源循環システムコースの学習・教育目標

- (A) 科学技術と社会・文化との関わりを知り、社会における技術者の責任・使命を認識する能力と素養を身に付ける。
- (B) 人間と自然との関わりを認識し、環境と調和した技術を考える能力と素養を身に付ける。
- (C) 専門分野を理解するために自然科学、数学、情報科学などに関する基礎的能力を身に付ける。
- (D) 技術の多様な展開に対応できる基本的な理解力と、他の分野にも視野を広げることができる素養を身に付ける。
- (E) 地圏の開発・防災、資源の開発・生産、資源循環・環境に関する総合的専門知識を身に付ける。
- (F) 問題の本質を理解した上で、他者と協働して自ら情報を収集・分析し、状況に応じた具体的な解決法と行動計画を策定する能力と素養を身に付ける。
- (G) 科学技術に対する知的好奇心を育み、主体的な学習意欲、継続的な研鑽の力と技術に対するフロンティア精神を身に付ける。
- (H) 自分の考えや仕事の内容・成果を論理的に表現できる文章記述能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
- (I) 国際的に通用するコミュニケーション能力と国際的な多様な価値観を理解できる素養を身に付ける。

3. (1) 本コースの特徴（とあなたが考えるもの）が十分に反映されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ

4. (1)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

5. (2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ、教育ポリシーなどは社会の要請（とあなたが考えるもの）に対してほぼ適合していますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ

6. (2)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

7. (3) 本コースの学生の資質（知識レベルなど）に対して適切に設定されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

8. (3)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

9. (4) 本コースの卒業生の進路（学生の方は希望進路）に照らし合わせて適切に設定されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

10. (4)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

11. (5) その他, 「学習・教育目標」に関してご意見があれば自由に述べてください。

3. カリキュラムについて

専門科目実行教育課程表

学年	科目番号・科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・ 実験の別
2年	1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習
2年	3 図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義
2年	4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2年	8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義
2年	9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習
2年	10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
2年	11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
3年	12 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	13 土質力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3年	14 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習
3年	15 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義
3年	16 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験
3年	17 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	18 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習
3年	19 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	20 環境化学/資源情報学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3年	21 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3年	22 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習
4年	23 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	24 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	25 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	27 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4年	28 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
2年	29 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	30 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	31 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習
2年	32 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験
2年	33 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	34 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	35 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義
2年	36 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義
2年	37 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2年	38 土質力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義
3年	39 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3年	40 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3年	41 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3年	42 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3年	43 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3年	44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3年	45 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験
3年	46 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習
3年	47 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義
3年	48 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義
4年	49 環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	50 生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	51 職業指導	4		4・Ⅱ	
4年	52 現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	53 卒業論文	8	必修	4・Ⅱ	
4年	54 水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義
4年	55 大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義

12. (1) 現在のカリキュラム（専門科目実行教育課程表を参照下さい）に対する満足度をお答えください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 満足している。（リストにある科目が、専門・仕事に役立つと考えられる、技術者・研究者・社会人の一般的素養として必要だと考えられる等）
- ☐ どちらともいえない（判断できない）
- ☐ 不満や改善要望がある

下記(3)～(7)の質問にお答えください。受講されていない科目もあるかと思いますが、(3)～(5)の質問に関しては、下記の表にある昨年度後期(10～3月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、下記のカリキュラム表内に記載されている番号です。

<カリキュラム表>

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
1 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
2 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
4 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
5 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
6 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
7 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験
8 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習
9 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義
10 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義
11 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅱ	実験

- 13。 (3) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

- 14。 (4) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

- 15。 (5) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

- 16。 (6) その他, 「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

- 17。 (7) 今年度の資源コースの時間割との兼ね合いで、教職科目等の他コースの科目で受講が難しかったもの/不都合を感じたものがあれば、具体的な情報を伝えてください。

4. 最後の質問です。

- 18。 (1) 本コースでは、教育システムの改善に皆さんの声を生かすために、このアンケートを行っています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。

- 19。 (2) その他, コース全般に対するご意見等（例えば, 「コース名を@@@に変更したほうがいいのでは」等）があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

教育システム改善のためのアンケート （令和5年度4年生）

資源循環システムコース コース長

廣吉 直樹

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する...これが大学の使命です。

このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的の実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。

1. まず、あなた自身についてお聞かせください。

1. (1) 所属研究室を選んでください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 環境地質学
- ☐ 資源再生工学
- ☐ 資源循環材料学
- ☐ 資源化学
- ☐ 資源マネジメント
- ☐ 岩盤力学
- ☐ 資源生物工学
- ☐ 地圏物質移動学
- ☐ 国際資源環境システム

2. (2) あなた（学部学生，大学院生）はどのような進路を考えていますか？あなた（社会人）はどのようなお仕事に就かれていますか？例えば，「大学院進学」，「環境関連の研究者」，「建設業界」などのように記入してください。

2. 学習・教育目標について次の「学習・教育目標」について，下記(1)～(5)の質問にお答えください。回答は回答欄の「はい」「いいえ」いずれか一方を選んでください。「いいえ」を選んだ方は，その理由を記入してください。

資源循環システムコースの学習・教育目標

- (A) 科学技術と社会・文化との関わりを知り，社会における技術者の責任・使命を認識する能力と素養を身に付ける。
- (B) 人間と自然との関わりを認識し，環境と調和した技術を考える能力と素養を身に付ける。
- (C) 専門分野を理解するために自然科学，数学，情報科学などに関する基礎的能力を身に付ける。
- (D) 技術の多様な展開に対応できる基本的な理解力と，他の分野にも視野を広げることができる素養を身に付ける。
- (E) 地圏の開発・防災，資源の開発・生産，資源循環・環境に関する総合的専門知識を身に付ける。
- (F) 問題の本質を理解した上で，他者と協働して自ら情報を収集・分析し，状況に応じた具体的な解決法と行動計画を策定する能力と素養を身に付ける。
- (G) 科学技術に対する知的好奇心を育み，主体的な学習意欲，継続的な研鑽の力と技術に対するフロンティア精神を身に付ける。
- (H) 自分の考えや仕事の内容・成果を論理的に表現できる文章記述能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
- (I) 国際的に通用するコミュニケーション能力と国際的な多様な価値観を理解できる素養を身に付ける。

3. (1) 本コースの特徴（とあなたが考えるもの）が十分に反映されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ

4. (1)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

5. (2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ、教育ポリシーなどは社会の要請（とあなたが考えるもの）に対してほぼ適合していますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ

6. (2)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

7. (3) 本コースの学生の資質（知識レベルなど）に対して適切に設定されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ

8. (3)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

9. (4) 本コースの卒業生の進路（学生の方は希望進路）に照らし合わせて適切に設定されていますか？

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ

10. (4)で「いいえ」を選んだ方は、その理由を記入してください。

11. (5) その他, 「学習・教育目標」に関してご意見があれば自由に述べてください。

3. カリキュラムについて

(1)～(4)の質問に対する回答は該当すると考える場合、チェックボックスにチェックを入力してください。受講されていない科目もあるかと思いますが、(2)～(4)の質問に関しては一般的な見地から可能な限りお答えください。

12。 当てはまるものをすべて選択してください。

	(1) 受講した ことのある 科目	(2) 現在ある いは将来、 あなたの専 門・仕事に 直接役立つ と考えられ る科目	(3) 専門を問 わず、技術 者・研究者 ・社会人の 一般的素養 として必要 だと考えら れる科目	(4) 必ずしも 必要とはい えないが選 択肢として 受講でき るようにし ておくこと は妥当だと思 える科目
応用数 学 I	☐	☐	☐	☐
応用数 学演習 I	☐	☐	☐	☐
(基 礎) 図 形科学	☐	☐	☐	☐
地球科 学	☐	☐	☐	☐
弾性体 の力学	☐	☐	☐	☐
熱力学	☐	☐	☐	☐
計測工 学	☐	☐	☐	☐
建設材 料	☐	☐	☐	☐
資源循 環デザ イン	☐	☐	☐	☐
生物工 学概論	☐	☐	☐	☐

情報工 情報工 学概論	☐	☐	☐	☐
流体力学	☐	☐	☐	☐
土の力学Ⅱ	☐	☐	☐	☐
物理化学 物理化学 演習	☐	☐	☐	☐
建築都市概論	☐	☐	☐	☐
資源循環 資源循環 実習Ⅱ	☐	☐	☐	☐
粉体工学	☐	☐	☐	☐
インタ インタ ネット	☐	☐	☐	☐
岩盤工 岩盤工 学	☐	☐	☐	☐
環境化 環境化 学	☐	☐	☐	☐
資源化 資源化 Ⅱ	☐	☐	☐	☐
資源循環 資源循環 Ⅱ	☐	☐	☐	☐
廃棄物 廃棄物 理工学	☐	☐	☐	☐
気象学 気象学	☐	☐	☐	☐
機械工 機械工 学概論	☐	☐	☐	☐

学概論				
トラク				
シヨス				
マ多ク				
シヨト	☐	☐	☐	☐
マニ				
現代物				
理学概				
論代物				
理学概	☐	☐	☐	☐
輪料工				
学概論				
材料工				
構概論	☐	☐	☐	☐
学Ⅰ				
構造力				
応用地	☐	☐	☐	☐
質学				
応用地				
類劣学	☐	☐	☐	☐
演習				
熱力学				
演習循	☐	☐	☐	☐
環シス				
資源循				
環シス	☐	☐	☐	☐
ニム実				
驗源循				
環シス				
資源循				
環シス	☐	☐	☐	☐
資源化				
学Ⅰ				
資源化				
生ネル	☐	☐	☐	☐
ギー工				
学概論				
ギー工	☐	☐	☐	☐
学概論				
学Ⅱ				
応用数				
物理化	☐	☐	☐	☐
学				
物理化	☐	☐	☐	☐
生の力				
学Ⅰ				
生の力	☐	☐	☐	☐
生シピ				
ユーテ				
シンゼ	☐	☐	☐	☐
演習テ				

https://docs.google.com/forms/d/1reEZG6V0tj_SA8hOQE6EJ9NhGiXMNStJdAsx7ypQzCg/edit

等上子

大気保
全工学

☐

☐

☐

☐

13。 (5) 現在のカリキュラムにはないが，必要であろうと考えられる科目や学習内容（「こんなことを勉強したい」「世の中に出たときに役に立つのに，なぜないのか」というようなもの）があれば記入してください。一般的な見地から可能な限りお答えください。

下記(6)～(9)の質問にお答えください。受講されていない科目もあるかと思いますが，(6)～(8)の質問に関しては，次ページの表にある今年度後期(10～3月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは，次ページのカリキュラム表内に記載されている番号です。

カリキュラム表

科目番号・科目名		単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
1	環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
2	生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
3	現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義
5	大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義
6	卒業論文	8	必修	4・Ⅱ	
7	職業指導	4		4・Ⅱ	

- 14。 (6) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

- 15。 (7) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

- 16。 (8) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

- 17。 (9) その他, 「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

- 18。 (10) 今年度の資源コースの時間割との兼ね合いで、教職科目等の他コースの科目で受講が難しかったもの/不都合を感じたものがあれば、具体的な情報を伝えてください。

4. 最後の質問です。

- 19。 (1) 本コースでは、教育システムの改善に皆さんの声を生かすために、このアンケートを行っています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。

20。 (2) その他, コース全般に対するご意見等（例えば, 「コース名を@@@に変更したほうがいいのでは」等）があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

2024/4/24までに回答

対象者人数	35
回答者人数	31
回答率	89%

1	(1)	回答	番号	回答数
		未回答	0	1
		大学院進学	1	26
		大学院進学もしくは就職	2	1
		就職希望	3	3
		合計		31

▼就職希望内訳

回答	回答数
建設業界	1
航空業界	1
その他	1

2	(1)	回答	番号	回答数
3		はい	1	31
		いいえ	2	0

4	(2)	回答	番号	回答数
5		はい	1	31
		いいえ	2	0

6	(3)	回答	番号	回答数
		未回答	0	1
		はい	1	29
		いいえ	2	1

↓

7	回答	意見
	いいえ	1件

8	(4)	回答	番号	回答数
9		はい	1	31
		いいえ	2	0

10	(5)	回答	番号	回答数
		特になし	1	4

カリキュラム表

学年	番号	科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・ 実験の別
2	1	応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	2	応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習
2	3	図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義
2	4	地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	5	弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	6	熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	7	計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	8	建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義
2	9	資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習
2	10	生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
2	11	情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
3	12	流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	13	土質力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3	14	物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習
3	15	建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義
3	16	資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験
3	17	粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	18	インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習
3	19	岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	20	環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	21	資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3	22	資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習
4	23	廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	24	気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	25	機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	26	コンストラクションマネジ	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	27	現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	28	材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
2	29	構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	30	応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	31	熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習
2	32	資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験
2	33	資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	34	資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	35	エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義
2	36	応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義
2	37	物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	38	土質力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義
3	39	コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3	40	流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3	41	地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3	42	微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3	43	地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3	44	火薬および爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3	45	資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験
3	46	技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習
3	47	環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義

3	48	数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義
4	49	環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	50	生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	51	職業指導	4		4・Ⅱ	
4	52	現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	53	卒業論文	8	必修	4・Ⅱ	
4	54	水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	55	大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義

11 (1)

番号	回答	回答数
1	満足している	23
2	どちらともいえない	7
3	不満や改善要望がある	1

↓

12 (2)

回答	
意見	1件

13 (3)

番号	科目名	回答数
1	構造力学Ⅰ	4
2	応用地質学	
3	熱力学演習	1
4	資源循環システム実験Ⅰ	1
5	資源循環システムⅠ	1
6	資源化学Ⅰ	
7	エネルギー工学概論	
8	応用数学Ⅱ	11
9	物理化学	1
10	土質力学Ⅰ	1

14 (4)

番号	科目名	回答数
0	特になし	3
1	構造力学Ⅰ	
2	応用地質学	1
3	熱力学演習	
4	資源循環システム実験Ⅰ	
5	資源循環システムⅠ	
6	資源化学Ⅰ	
7	エネルギー工学概論	2
8	応用数学Ⅱ	
9	物理化学	2
10	土質力学Ⅰ	5

15 (5)

回答	回答数
特になし	4
意見	4

16 (6)

回答	件数
特になし	1

17 (7)

回答	件数
意見	2

18	(1)	回答	件数
		特になし	1
		意見	2

19	(2)	回答	件数
		特になし	1
		意見	1

教育システム改善のためのアンケート

令和6年度4年生1学期アンケート

2024/5/9までに回答

対象者人数	33
回答者人数	29
回答率	88%

1	(1)	回答	回答数
		研究室別	29

2	(2)	回答	番号	回答数
		大学院進学	1	27
		就職希望	2	2
		合計		29

▼就職希望内訳

回答	回答数
環境関連：エンジニア	1
技術士、または公認会計士	1

3	(3)	回答	番号	回答数
4		はい	1	29
		いいえ	2	0

5	(2)	回答	番号	回答数
6		はい	1	28
		未回答	0	1

7	(3)	回答	番号	回答数
8		はい	1	29
		いいえ	2	0

9	(4)	回答	番号	回答数
10		はい	1	29
		いいえ	2	0

11	(5)	回答	番号	回答数
		特になし	0	4
		意見	1	1

カリキュラム表

学年	番号	科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・ 演習・ 実験の 別
2	1	応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	2	応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習
2	3	図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義
2	4	地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	5	弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	6	熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	7	計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	8	建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義
2	9	資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習
2	10	生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
2	11	情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
3	12	流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	13	土質力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3	14	物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習
3	15	建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義
3	16	資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験
3	17	粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	18	インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習
3	19	岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	20	環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義
3	21	資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義
3	22	資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習
4	23	廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	24	気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	25	機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	26	コンストラクションマネジ	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	27	現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
4	28	材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義
2	29	構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	30	応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	31	熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習
2	32	資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験
2	33	資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	34	資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	35	エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義
2	36	応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義
2	37	物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	38	土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義
3	39	コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3	40	流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習
3	41	地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3	42	微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3	43	地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義
3	44	火薬および爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義
3	45	資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験
3	46	技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習

3	47	環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義
3	48	数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義
4	49	環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	50	生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	51	職業指導	4		4・Ⅱ	
4	52	現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	53	卒業論文	8	必修	4・Ⅱ	
4	54	水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義
4	55	大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義

12 (1)

番号	回答	回答数
1	満足している	26
2	どちらともいえない	2
3	不満や改善要望がある	1

13 (3)

番号	科目名	回答数
1	コンピューティング演習	5
2	流体力学演習	6
3	地殻システム工学	
4	微生物工学	1
5	地下水工学	
6	火薬及び爆破工学	3
7	資源循環システム実験Ⅲ	
8	技術英語	5
9	環境物理	
10	数値計算法	
11	資源循環システム実験Ⅱ	

14 (4)

番号	科目名	回答数
0	特になし	6
2	応用地質学	1
10	土の力学Ⅰ	3

15 (5)

回答	件数
特になし	1

16 (6)

回答	件数
特になし	7
意見	1

17 (7)

回答	件数
特になし	6

18 (1)

回答	件数
特になし	6
意見	2

19 (2)

回答	件数
特になし	5

2024/3/31までに回答

対象者人数	34
回答者人数	29
回答率	85%

1	(1)	回答	回答数
		研究室別	29

2	(2)	回答	番号	回答数
		未回答	0	2
		大学院進学	1	20
		大学院進学もしくは就職	2	1
		就職希望	3	6
		合計		29

▼就職希望内訳

回答	回答数
建設業界	1
資源業界	2
IT業界	1
人材業界	1
公認会計士	1

3	(3)	回答	番号	回答数
4		はい	1	28
		いいえ	2	0

5	(2)	回答	番号	回答数
6		はい	1	28
		いいえ	2	0

7	(3)	回答	番号	回答数
8		はい	1	28
		いいえ	2	0

9	(4)	回答	番号	回答数
		はい	1	27
		いいえ	2	1

↓

10	回答	回答数
	意見	1

11 (5)

回答	番号	回答数
特になし	0	1

カリキュラム表

番号	科目名	(1)	(2)	(3)	(4)
1	応用数学Ⅰ	27	10	21	6
2	応用数学演習Ⅰ	27	10	20	5
3	図形科学	28	2	6	19
4	地球科学	29	17	13	9
5	弾性体の力学	27	10	13	9
6	熱力学	28	14	20	6
7	計測工学	29	9	18	8
8	建設材料	27	5	9	15
9	資源循環デザイン	28	17	12	5
10	生物工学概論	27	4	10	15
11	情報エレクトロニクス概論	25	7	9	15
12	流体力学	27	8	16	9
13	土の力学Ⅱ	12	4	8	17
14	物理化学演習	27	9	15	9
15	建築都市学概論	25	6	11	15
16	資源循環システム実験Ⅱ	28	16	18	7
17	粉体工学	27	10	14	8
18	インターンシップ	10	10	8	8
19	岩盤工学	28	9	15	10
20	環境化学	28	9	17	7
21	資源化学Ⅱ	27	9	17	8
22	資源循環システムⅡ	28	14	16	6
23	廃棄物処理工学	10	5	9	13
24	気象学	12	6	8	14
25	機械工学概論	15	4	8	16
26	コンストラクトマネジメン	27	8	6	12
27	現代物理学概論	17	3	7	16
28	材料工学概論	17	3	8	13
29	構造力学Ⅰ	28	10	16	8
30	応用地質学	28	13	16	9
31	熱力学演習	28	11	20	8
32	資源循環システム実験Ⅰ	28	17	15	6
33	資源循環システムⅠ	27	14	12	6
34	資源化学Ⅰ	28	8	16	9
35	エネルギー工学概論	24	6	13	10
36	応用数学Ⅱ	23	9	14	7
37	物理化学演習	27	8	17	9
38	土の力学Ⅰ	19	5	8	12
39	コンピューティング演習	28	17	16	7
40	流体力学演習	26	9	17	8
41	地殻システム工学	26	8	13	8
42	微生物工学	23	6	8	16
43	地下水工学	28	8	13	10
44	火薬および爆破工学	23	8	13	8

45	資源循環システム実験Ⅱ	28	15	18	6
46	技術英語	27	14	16	5
47	環境物理	26	6	15	7
48	数値計算法	27	8	16	10
49	環境工学概論	19	5	15	11
50	生体工学概論	15	2	7	13
51	職業指導	4	4	8	9
52	現代化学概論	5	3	8	11
53	卒業論文	29	24	14	4
54	水環境保全工学	7	3	10	13
55	大気保全工学	2	3	8	12

13 (5)

回答	回答数
特になし	2
意見	1

14 (6)

番号	科目名	回答数
1	環境工学概論	2
2	生体工学概論	
3	現代化学概論	
4	水環境保全工学	
5	大気保全工学	
6	卒業論文	5
7	職業指導	
0	特になし	2

15 (7)

回答	回答数
特になし	3
意見	1

16 (8)

回答	件数
特になし	3

17 (9)

回答	件数
特になし	1

18 (10)

回答	件数
特になし	3

19 (1)

回答	件数
特になし	3
意見	3

20 (2)

回答	件数
特になし	2
意見	2